

い つまでもお元気で

100歳を迎えた高齢者をお祝い

1月29日に満100歳を迎えた浮田ヒサ子さん（牛窓町鹿忍）のお祝いに、2月2日、高原家直副市長らのご利用中の施設を訪問しました。浮田さんは他の施設利用者や家族に見守られながら、笑顔でお祝い状を受け取りました。

また、高原副市長からは「山もあり 谷もありしの人生も よくぞ迎えし 百歳の朝」とお祝いの歌が送られました。長寿の秘訣は「自分のことはなるべく自分できるように心掛けていたこと」。

浮田さん、これからもますますお元気でお過ごしください。



高原副市長からお祝い状を受け取る浮田さん（写真左）

自 然の厳しさと家庭の温かさを知る

瀬戸内市 FOS 少年団連盟が耐寒キャンプ



わらや段ボールを集めて家づくり（左上）／保護者の皆さんが作ったおでんと炊き込みご飯で夕食（右下）

1月23日、邑久町山田庄の田んぼで瀬戸内市 FOS 少年団連盟が耐寒キャンプを行いました。

備前市日生町 FOS 少年団連盟と吉備中央町 FOS 少年団連盟からの参加もあり、小中学生の団員、指導者、保護者約70人が参加。わらや段ボールを使用して家づくりを行い、暖かさを感じるその家の中でのおしゃべりや田んぼの中での鬼ごっこを楽しみました。

3時のおやつには、12月の活動で清掃奉仕を兼ねて集めた落ち葉で焼いた焼き芋を食べ、夕食後には、高砂山の展望台までナイトウォークを行いました。

自然の厳しさと家庭の温かさを心に刻み、共同作業を通じて他地域の団員と交流を深めていました。

災 害に対する心構えを新たに

瀬戸内市消防出初式

1月17日、中央公民館で消防団員らが出席して、恒例の消防出初式が行われました。

式典では、新入団員に辞令を交付し、消防活動により功績のあった消防団員などに対し、表彰状を授与しました。福池幹夫団長は「今後もより一層消防団の使命を全うするため、平素の訓練はもちろん防火・防災の予防啓発を重点的に推し進め、皆さんと共にさらなる災害対応力の強化を押し進めていかなければならない」とあいさつ。

最後は、瀬戸内市消防の発展を願い、万歳三唱を行い式典を終了しました。



辞令を受ける新入団員（左上）／市消防の発展を願い、万歳三唱（右下）



My Town Topics

まちの話題

問 秘書広報課：☎0869-24-7095

票の大切さを学ぶ

邑久高校で模擬投票

選挙権の年齢が「18歳以上」に引き下げられたのを受け、邑久高校で1月27日、市選挙管理委員会が出前授業（模擬投票）を実施しました。

平成28年夏執行予定の参議院議員通常選挙から新たに有権者となる邑久高校3年生が参加。「金平党」「花林党」「甘納党」の候補者役3人が演説した後、本番同様に投票を行いました。

また、生徒らは計数機など実際の機材を使った開票作業も体験。投票するという経験を通じて、一票の大切さを学んでいました。



演説する甘納党の櫻井佑里香さん（左上）と金平党の古林智君（右下）



初めて投票用紙を受け取る生徒ら



意中の候補者の名前を書いて投票箱に一票を投じました



ドキドキの開票



開票作業に当たる生徒ら



トップ当選した花林党の川角香菜子さん（写真右）に当選証書が手渡されました

選挙権年齢の引き下げについて

平成27年6月、選挙権年齢を「20歳以上」から「18歳以上」へ引き下げる改正公職選挙法が成立しました。

平成28年夏の参議院議員通常選挙から適用される見通しで、日本全国で18・19歳の約240万人が新たな有権者になります。

また国政選挙で適用された後は、自治体の首長、議会の選挙などにも適用されます。

※記事中の政党はフィクションであり、実在する、人物・地名・団体とは一切関係ありません。